

NAGANO CALENDAR

日	曜日	主な行事
1/18	水	文書配布日
19	木	
20	金	自転車マナー向上指導強化の日/青パトロール
21	土	みんなでラジオ体操
22	日	みんなでラジオ体操
23	月	
24	火	青パトロール
25	水	
26	木	
27	金	青パトロール
28	土	みんなでラジオ体操
29	日	みんなでラジオ体操/仿僧川ゴミ拾い
30	月	
31	火	青パトロール
2/1	水	(運営委員会・拡大役員会)
2	木	文書配布日
3	金	青パトロール
4	土	みんなでラジオ体操
5	日	南部中資源回収/みんなでラジオ体操
6	月	
7	火	青パトロール
8	水	
9	木	
10	金	青パトロール
11	土	みんなでラジオ体操
12	日	みんなでラジオ体操
13	月	
14	火	青パトロール
15	水	
16	木	
17	金	青パトロール
18	土	みんなでラジオ体操
19	日	みんなでラジオ体操
20	月	
21	火	青パトロール
22	水	
23	木	
24	金	青パトロール
25	土	みんなでラジオ体操/ (自治会長予定者会)
26	日	みんなでラジオ体操
27	月	
28	火	青パトロール
3/1	水	(運営委員会)
2	木	
3	金	青パトロール
4	土	みんなでラジオ体操
5	日	みんなでラジオ体操/ (安全部説明会)

● = 交流センター休館日

みんなでラジオ体操 (参加自由)
 7:30~ 長野交流センター
 7:30~ 草崎公会堂
 7:30~ 前野お祭り広場

お知らせ

成年後見制度を知ろう！

～説明会・相談会のお知らせ～

- ・認知症がすすみ、預貯金の管理が心配になってきた家族のために
- ・親なきあと、障害のある子の生活を心配する家族のために
- ・今は大丈夫、将来、自分や家族が困らないように

今、心配な方、将来に備えて知っておきたい方のために、成年後見制度について分かりやすく説明させていただきます。あわせて個別相談会も行います。いずれかご希望の日程で、参加の申込みをお待ちしております。

主催・会場	日程・内容
南交流センター 磐田市下岡田 142-1 (電話) 32-9623	3/2 (木) 午後 1 時 30 分～ 【制度の説明・60 分】～午後 2 時 30 分 ①成年後見制度の概要、磐田市の利用状況 ②「障がい者」の利用例 【個別相談会・1 件 30 分・3 件まで受付】 ※説明会后、午後 2 時 30 分～対応
長野交流センター 磐田市小島 374 (電話) 32-5421	3/7 (火) 午前 9 時 30 分～ 【制度の説明・60 分】～午前 10 時 30 分 ①は上記と同じ ②「認知症高齢者」の利用例 【個別相談会・1 件 30 分・3 件まで受付】 ※説明会后、午前 10 時 30 分～対応

参加定員 説明会は 20 名定員、相談会は 3 件まで受付

参加申込 参加希望の交流センターにお申込みください。
 (南…2/2(木)、長野…2/7(火)より受付開始です。)

講師・相談員 磐田市成年後見支援センター (2 会場とも)
 (共催) 磐田市南部障害者相談支援センター (南交流センター会場)
 磐田市南部地域包括支援センター (長野交流センター会場)

長野交流センター 講座のお知らせ

受講ご希望の方は申込み開始日以降に、長野交流センターまでお申込みください。TEL 0538-325421

成年後見制度を知ろう	新聞ちぎり絵講座	【全4回】ミニトランポウーク
3月7日(火) 9:30～10:30	4月21日(金) 9:30～11:30	4月5・12・19・26(水) 10:00～11:15
高齢者や障害のある方が認知症、一人暮らしになっても、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、制度の内容を社会福祉士が説明します。※先着3名まで希望者は講座終了後に個別相談有り	新聞を指でちぎり、のりで張りあわせ絵をかいてみませんか？指先や頭を使うので脳トレとしても活用できます。	懐かしい音楽が流れる中で、ミニトランポリンを使って楽しく体を動かしてみませんか？ひざや足首に負担が掛かりにくいので、安心して始めることができます。
対象：大人 定員：20人 費用：無料 持ち物：筆記用具 共催：磐田市成年後見支援センター、南部地域包括支援センター	対象：大人 定員：10人 費用：材料費600円 (下絵ポストカード・のり・ピンセット) 持ち物：マスク	対象：大人 定員：10人 費用：1,200円 (受講料400円・教材費800円) 持ち物：飲み物・汗拭きタオル その他：教材費はミニトランポリンのレンタル料(4回分)です
申込み：2/7(火)9:00～	申込み：3/3(金)9:00～	申込み：2/22(水)9:00～

全戸配布

長野地域づくり協議会だより



2023.1.18 発行 1月2月合併号

長野交流センター
Instagram



講座や催しなどの情報や、地域の情報を発信していきます。

長野地域づくり協議会事務局
公式ライン



協議会の情報を主に発信していきます。

(事務局) 長野交流センター

✉nagano-koryu@tiara.ocn.ne.jp

Tel 32-5421 / Fax 32-8022

※左の QR コードより Instagram や公式ライン、または磐田市 HP に

カラーで掲載しています

磐田市 HP 上で検索または、上記 QR コードより確認

今年も地域の話題を、この紙面と Instagram・公式ラインに載せてお届けしていきます

スマホをお持ちの方、Instagramのフォローをぜひお願いします。



長野交流センターでは、『長野地域づくり協議会だより』をほぼ毎月発行しています。地域の情報が一軒一軒のご家庭に届くように、全戸配布にしています。各自治会の役員の皆様にはご家庭への配布にご協力いただき、ありがとうございます。コスト削減のためモノクロ印刷ですが、磐田市のホームページではカラーで見ることができますので、一度ご覧ください。紙面の右上の QR コードより、磐田市ホームページ上の『長野地域づくり協議会だより』に繋がります。

また『Instagram』と『公式ライン』で地域の情報を発信しています。

『公式ライン』は主に長野地域づくり協議会に特化した内容ですが、『Instagram』は協議会だけではなく地域全体に関係する催しであったりお知らせなどを掲載しています。小中学校の資源回収の取り組みや、中止や延期などの急なお知らせなど、また楽しいイベントや講座のご案内もしています。

「地域に知らせたい！」ことがありましたら、長野交流センターまで…

長野交流センター Instagram を地域の伝言板としてぜひ活用してください！

地域の各種団体 (PTA、生徒会、消防団、社協、…) で、長野地区内に広くお知らせしたいことがありましたら、交流センターまでご連絡ください。※ただし営利目的の内容は掲載できません。

参加者大募集

緑語会主催

「仿僧川河川敷プラスチックごみ拾い」

日時：1/29 (日) 14:00～16:00

集合場所：竜洋昆虫自然観察公園 (昆虫館) の外トイレの前

服装等：汚れてもよい服装・軍手などの手袋・長靴・防止

地元の大きな歴史である緑十字機不時着。77 年前…8 月 20 日の深夜に鮫島海岸に不時着した降伏軍使一行と、それを支援した住民らが歩んだ道沿いの仿僧川が悲惨な状態です。

地域の歴史と環境を守るために、皆様のご協力をお待ちしています。

当日は南部中 2 年生のボランティアも参加します。



「長野」に
このゴミは不要！
きれいな地域に…
「仿僧川河川敷ゴミ拾い」

【龍門館教育 緑十字機を救助した鮫島住民の人たち】

紙芝居【昔ほんとうにあった話】

緑十字機不時着を語り継ぐ会（緑語会）の方々が、長野小学校に紙芝居「昔ほんとうにあった話」を寄贈してくださいました。

これは、77年前の8月20日深夜、磐田市の鮫島海岸に、連合国との降伏交渉を終えた軍使が乗る「緑十字機」が不時着し、鮫島の住民の救助活動により、日本が無事に終戦を迎えられた歴史を紙芝居にしたものです。

先日、4年1組で、この紙芝居の読み聞かせを行いました。子どもたちは、絵を見ながら、真剣に話を聞いていました。紙芝居に登場する鮫島の住民大橋さんの玄孫である奈々さんは、「ひいひいおじいちゃんが、海岸から文書運ぶのを手伝ったことは聞いていたけれど、こんな風に緑十字機が鮫島海岸に不時着して、大切な文書が届けられたことは初めて知った。」と驚いていました。他の子どもたちも、「この文書が届かなかったら、戦争は続いていたのかもしれない。」「お姉ちゃんが陸上の練習で走っている鮫島海岸でこんなことが起きていたなんて、びっくりした。知れてよかった。」など感想をもちました。紙芝居には、**仿僧川**など子供たちになじみのある地名も出てきました。長野の歴史に関心を持つことにつながったのではないかと思います。



【岡部さんから緑十字機のお話を聴こう】



6年生の子供たちが、「緑十字機決死の飛行」という本を執筆され磐田にまつわる郷土史を研究している岡部英一さんから、戦後日本の命運を賭けて飛行した緑十字機のお話を聴きました。

8月15日が終戦だと思っている方が多いと思いますが、本当の終戦は降伏文書に調印した9月2日なのだという事実に、子供たちは、まず驚いていました。そして、テレビでも放映された緑十字機のドキュメンタリー映像を興味深く観たり、岡部さんの話をじっくり聴いたりしていました。子供たちは、「鮫島の人々が緑十字機の人々を助けなければ、戦争が続いていたのかもしれない」と思うと怖い。」「この不時着がどれだけのことが改めて知ることができた。いろいろな奇蹟を紡いだことで、今があるのだと思う。」「日本を救った鮫島の人々が地元でいたことが、とても誇らしい。」「磐田の歴史を大切に、語り継いでいきたい。」など様々な思いを持ちました。郷土を誇りに思い、郷土を愛する心が育まれました。

※ 子供たちになじみのある仿僧川のゴミ拾いを行います。詳しくは裏面をご覧ください。ご協力よろしくお願いします。

長野幼稚園より お知らせ TEL34-5813

新年あけましておめでとうございます 地域の皆様には、日頃より長野幼稚園を温かく見守り、応援していただきありがとうございます。今年度も、長野地区自治会より、玩具や絵本、花苗などを購入させていただきました。おかげさまで遊びが充実し、子どもたちの笑顔とおもしろそう！やってみよう！という気持ちにつながっています。今年も、魅力あふれる幼稚園をめざしてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



一人ずつ購入したパンジーの苗は、卒園式の際に飾ります。

新しい観察ケース、嬉しいな！
いっぱい虫を見付けようぞ！



絵本や紙芝居を30冊ほど購入させていただきました。お友達と一緒に見るのも楽しいね。



変わった形のブロックは、友達と一緒に試行錯誤しながら、つなげてみたり、形を作ったり…完成時の「見て見て！」の音が弾みます。



第3回 南部中学校 資源回収

南部中学校 第3回PTA資源回収のお知らせ

【実施日】令和5年2月5日(日) ※予備日：2月19日(日)

＜小雨決行＞

※ 午前8時までに、地区の集荷方法に従ってお出ください。

【荒天による延期等の連絡について】

・実施日に荒天の予報が出ている場合は、前日4日(土)の昼頃に実施可否を判断し、学校から保護者に『いわたホットライン』にて連絡する予定です。

・地域の皆様には、4日(土)の昼以降に各地区の担当者(保護者)から連絡させていただくことになりますので、御承知おきください。また、南部中ホームページでもお知らせしますので、御確認ください。

【回収物】

- ・新聞類、雑誌類、牛乳パック → それぞれ紙ひもで縛る
- ・段ボール → 紙製のガムテープまたは紙ひもで縛る
- ・アルミ缶 → 小さく潰す
- ・古布 → 布ひもまたはシーツなどの布製品で縛る

○日時
令和5年2月5日(日) ◎小雨決行
【予備日】2月19日(日)

※延期・中止の場合は、直前中に連絡します。
※またはお近くの中学校があるお家の方に依頼してください。

○回収するもの
新聞 雑誌 古布
アルミ缶 段ボール
牛乳パック
【朝8:00までにお出ください】

○回収しないもの
ビニール スチール缶
ペットボトル

南部中ホームページより 1/15 に開催した報告会の記事を早速掲載してくださいました。皆様には協議会だよりで改めて詳細をお伝えしますが、校長先生はじめ多くの生徒さんご参加、中学校の対応に感謝いたします。以下は南部中ホームページの文面と写真です。

南部中

ホームページ



2023/01/16 「長野地区中学生以上全住民アンケート」報告会

昨日15日(日)、醍醐荘にて「長野地区中学生以上全住民アンケート」報告会が行われ、本校の1・2年生23人が出席しました。

誰もが暮らしやすい地域を創っていくためのきっかけとなる、とても大切な取組ですよ。夏休みの「アンケート集計ボランティア」に続き、中学生が地域の活動に参画することは、確実に地域の活性化につながっていきます。

世代を超えて、地域の方々と顔を合わせて交流できたことも貴重でしたね。

学校はこれからもずっと地域にあり続けます。

少子化といえど、中学生も必ずこの地域にいます。

南部中や中学生が果たすべき地域貢献について、生徒と一緒に考えていきたいと思っています。



福祉部 (長野地区社協) ～長野地区社協 福祉講演会～

令和4年9月23日 台風15号の災害に対し、災害に見舞われた地区がどのような活動をしたのか、今後の長野地区の地域防災、地域福祉活動の参考にしたいと計画しました。

演題Ⅰ「磐田市の台風15号対応」避難行動要支援者について ～磐田市役所 福祉課～

今回のように、災害はいつ発生するか分からないため、日頃のご近所同士の助け合いが必要です。

福祉課では、災害対策基本法に基づいて「避難行動要支援者名簿」を作成しています。各単位自治会に避難行動要支援者に対して「個別計画書」の作成をお願いし、各単位自治会は支援者に支援依頼をお願いしています。

演題Ⅱ「令和4年9月台風15号災害対応」～磐田市社会福祉協議会～

磐田市社会福祉協議会は、9月25日(災害発生3日目)豊岡地区と見付地区の災害状況を確認して、災害ボランティアセンターを立ち上げました。

そこでは、主に次の活動をしました。

- 県社協との連絡(他の市社協・技術系ボランティアに依頼依頼)、○災害ボランティアの募集、○被災者からの救援依頼対応、○災害ボランティアの振り分けなど。

地域住民は、地域を守るという考えに基づいて、地域の情報共有をする事が大切です。

情報共有の一つとして、大雨が降るといつも冠水するという場所で、草崎の道路の冠水状況も紹介された。

福祉講演会に参加していただいた方の意見、声(アンケートより)

・草崎自治会の災害時における初期活動は早く、道路の冠水した場所にコーンを立て注意喚起をした。「地域で出来る事は、地域でやるべきだ」という前向きで自主防災の模範的な意見も出された。

・市、社協、ボランティア、自治会の全ての皆さんの頑張りが良く分かった。

・磐田市内の各地で、このような会が計画されるといい。

・こんなに身近な地域で災害がおこった事に驚いた。

・水害について自分の地域がどうなのか、再度調べないといけないと思った。

・市社協の活躍が分かった。もっとアピールして、社協会費なり共同募金の協力の際、広報すればよいのではと思った。

講演者(福祉課、市社協)



道路の冠水状況



(草崎自治会より写真提供)